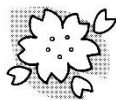


学校だより

津久戸

令和4年4月6日

4月号 新宿区立津久戸小学校



初心忘るべからず

校長 牧田 健一

今年度も津久戸小学校の校長を務めさせていただきます。よろしくお願いたします。昨年度の1年間は、新型コロナウイルス感染症対策で楽しみにしていた行事の中止や縮小、3学期には分散登校となるなど、子供たちに残念な思いをさせてしまいました。その中で、なんとか1年間を乗り越えることができたのも、地域・保護者の皆様のご理解とご協力があったことだと強く感じています。心からこの津久戸小学校に赴任できたことに深く感謝し、そして喜びを感じています。ありがとうございます。今年度も、歴史と伝統ある津久戸小学校をより良い学校とすることを目指していきたいと思います。

毎年4月を迎えるときいつも思い出す言葉があります。「初心忘るべからず」です。この格言は、室町時代に能楽で大成した世阿弥の「花鏡」に記されています。600年前から受け継がれている言葉です。そこでの初心とは、字の通り「初心者」のことで、始めたときに全く未熟であった自分が、様々な苦労や努力をしてきたことを忘れてはいけないという解釈を私はしています。そして、過去の未熟であった自分を思い出すだけではなく、今も未熟であると自覚する必要がありますとも解釈しています。初心を忘れず、本校の教育目標である「知性と教養にあふれ たくましく 前向きに生きる津久戸の子」を目指し、毎日明るく楽しくそして元気よく生活できるよう努力をしていきたいと考えています。

学校は様々な個性、人格が集まった集団で生活をする場です。社会的にも未熟な(初心)子どもたちが、より良い自分を目指して、互いに関わり合いながら活動しています。様々な個性の集まりですから意見が合わずぶつかったり、もめたりもします。その中で、苦労や努力、協力や思いやりといった感経験こそが、よりよい生き方を学び、身に付けていくことができる場所が学校だと考えています。

しかし、学校だけでは解決できない課題もあるのが実情です。学校は全力をあげて教育にまい進いたしますが、地域の方々や保護者の皆様にもご理解、ご支援をいただき津久戸小学校の全児童に、地域、そして日本の未来を支え、作っていく力を身に付けさせたいと考えています。数多くの大人から見守られ、安心して生き生きと、前向きに生活できる学校づくりにご協力をお願いいたします。

4月の生活目標

『きまりよい生活をしよう。』

- 登下校の時刻を守ろう。
- 集合・整列を早くしよう。
- 学習用具の準備をきちんとしよう。



新学期がスタートし、子どもたちは、一つ上の学年に進級しました。子どもたち一人ひとりが、早く新しい環境に慣れ、安全に、楽しく、規律ある学校生活が送れるように指導を重ねていきます。登校時刻を守ることや学習用具の準備など、ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

4月は、様々な約束事を確認する時期です。学習のきまり、生活のきまりなどを学校でも確認、指導して参ります。4月の保護者会では、「つくどの子ども」等の資料を通して学校でのきまりを確認します。お子さんが気持ちよく学校生活を送れるよう、ご家庭でもお子さんと確認していただけたらと思います。

(生活指導部)

同居する家族、きょうだい又は親族に風邪症状等が見られた場合は、PCR検査を受ける前であっても、お子様の登校は控えてくださるようご協力願います。PCR検査を受けたら、学校に必ず連絡をください。

